

【第5回】 (仮称)下井草まちづくりラボ 次第

日時：令和6年10月26日(土)
午前8時30分～13時00分

(井草地域区民センターを出発)

～バス移動(15分)～

1 開 会

2 「高架下の小さな広場(石神井公園駅周辺)」事例視察(10分)

～徒歩移動(15分)～

2 「石神井公園駅周辺」事例視察(20分)

～徒歩移動(25分)～

3 「練馬高野台駅周辺」事例視察(20分)

～バス移動(40分)～

4 「世田谷代田駅周辺」事例視察(15分)

～徒歩移動(20分)～

5 「下北沢駅周辺」事例視察(20分)

～徒歩移動(20分)～

6 「東北沢駅周辺」事例視察(10分)

7 閉 会

～バス移動(40分)～

(井草地域区民センターにて解散)

※各時間は、あくまで目安となります。

第5回（仮称）下井草まちづくりラボ

鉄道連続立体交差事業及び 駅周辺の事例視察

2024年10月26日（土）

杉並区市街地整備課鉄道立体係

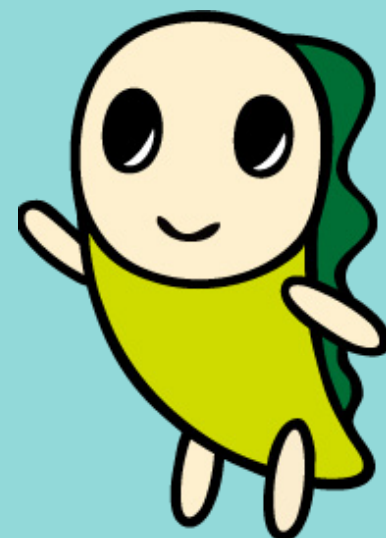


本日の流れ

- 1 開会
- 2 「石神井公園駅周辺」事例視察
- 3 「練馬高野台駅周辺」事例視察
- 4 「世田谷代田駅周辺」事例視察
- 5 「下北沢駅周辺」事例視察
- 6 「東北沢駅周辺」事例視察
- 7 閉会

1

開会



本日の事例視察の主な目的

鉄道連続立体交差化完了後における駅周辺の交通処理方式（駅前広場やロータリー、側道等）について、イメージすることです。

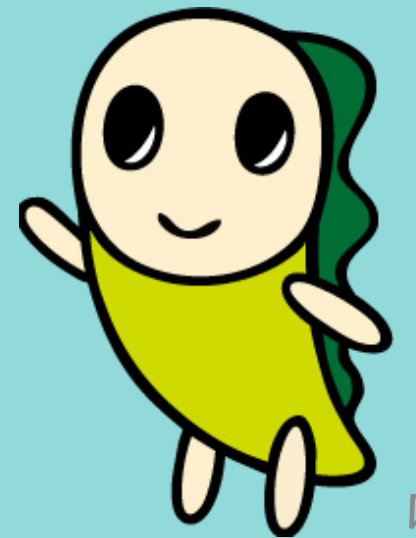
本日は、複数の鉄道連続立体交差事業及び駅周辺事例について実際に歩きながら見て回ります。事業完了後の下井草駅周辺のまちの将来像を描いていくにあたり、駅周辺の交通処理方式について着目し、イメージしながら事例視察を行ってください。

また、ぜひ下井草駅が高架化・地下化のどちらになっても活かせる駅周辺の交通処理方式について考えてみてください。

※鉄道の構造形式にかかわらず、高架下または地上部利用の検討は、他事例によると、事業完了時の状況・ニーズを反映させるために鉄道事業完了の数年前に始めています。適切な時期に地域のみなさまの意見を聴くとともに、東京都や鉄道事業者と協議してまいります。

2

石神井公園駅周辺 事例視察



事例視察のポイント

① 下井草のまちづくりに役立ちそうなことは何でも資料裏面のメモ欄に記録してください。

② 駅周辺を見る方法

- ・ 駅からまちへ出た時に、まちの特徴が伝わってくる要素があること
 - 物理的なこと：建物／みどり／景色／音・香り
 - 人々の様子：憩い／会話／にぎわい
- ・ まちの案内が分かりやすいこと
- ・ 乗り継ぎがスムーズであること
- ・ 安全に歩けること
- ・ 駅前における歩行者と車両の交通状況
- ・ 駅前にあると利用しやすい公共施設 等

③ まち全体をとらえる方法

- ・ 地形（坂道や個性的な道）や資源（歴史的な建造物やみどり）を活かしたまち並み
- ・ 地域の自慢となる個性ある商店街
- ・ まちを利用する人たちのマナー（ゴミや落書きへの対策）
- ・ まちを利用する人たちへの配慮（みどりの育成やくつろぎの空間）

視察対象 5 駅の概要

| 駅名 | 1日平均乗降人員 (2023年) ※1 | 発着バス 路線数 ※2 | 連続立体交差事業施行年度 ※3 | 駅前広場面積 ※GoogleMap により計測 | 備考 |
|---------------------|---------------------------|-------------------|-----------------------------|-------------------------------|-------------------------------------|
| 下井草駅 (西武新宿線) | 21,827人 | 7 路線 | | | |
| 石神井公園駅 (西武池袋線) | 74,675人 | 14路線 | 平成19年～平成28年 (練馬高野台～大泉学園) | 北口 約2,800㎡ 南口 約3,900㎡ | ・平成27年1月高架切替完了 |
| 練馬高野台駅 (西武池袋線) | 25,409人 | 5 路線 | 昭和46年～平成9年 (富士見台～石神井公園) | 約1,200㎡ | ・昭和62年12月高架切替完了 ・平成6年12月駅開設 |
| 世田谷代田駅 (小田急小田原線) | 9,543人 | 2 路線 環八沿い | 平成15年～平成30年 (代々木上原～梅ヶ丘) | 約1,600㎡ | ・平成25年3月地下切替完了 ・代田 4 丁目バス停まで徒歩5分 |
| 下北沢駅 (小田急小田原線) | 225,967人 小田急+京王 | 2 路線 茶沢通り | 平成15年～平成30年 (代々木上原～梅ヶ丘) | 約3,200㎡ | ・平成25年3月地下切替完了 ・下北沢駅前バス停まで徒歩5分 |
| 東北沢駅 (小田急小田原線) | 7,599人 | 3路線 | 平成15年～平成30年 (代々木上原～梅ヶ丘) | 約1,200㎡ | ・平成25年3月地下切替完了 |

出典: ※1 西武鉄道株式会社HP「駅別乗降人員」 <https://www.seiburailway.jp/company/passengerdata/>
小田急電鉄株式会社HP「駅別乗降人員」 <https://www.odakyu.jp/company/railroad/users/>

※2 フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

※3 東京都発行パンフレット「道路と鉄道の連続立体交差事業」

連続立体交差事業 [石神井公園駅～練馬高野台駅]

■ 整備概要

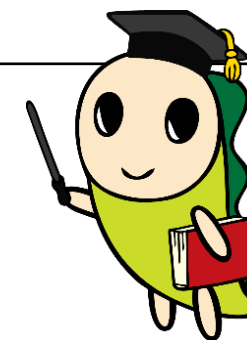
本事業は、東京都が事業主体となり、練馬区と西武鉄道が連携して、西武池袋線の練馬高野台駅～大泉学園駅間約2.4kmについて道路と鉄道との連続立体交差化を行い、あわせて鉄道に沿って側道を整備するものである。

また、練馬高野台駅付近から石神井公園駅付近までの約1.2kmにおいて、鉄道の複々線化を行うものである。

- 事業箇所：西武池袋線の
練馬高野台駅～大泉学園駅間
- 構造形式：高架方式
- 踏切解消：9箇所
- 交差する都市計画道路：3箇所
- 事業延長：約2.4km（うち複々線化約1.2km）
- 事業期間：平成19年度～28年度
- 事業費：約383億円（複々線化事業を含む総事業費約509億円）

■ 整備経過

| | |
|----------|--|
| 平成17年6月 | 都市計画決定（高架化） |
| 平成19年5月 | 都市計画事業認可取得 |
| 平成22年2月 | 練馬高野台～石神井公園駅間（Ⅰ期区間）上り線高架化 |
| 平成23年4月 | 練馬高野台～石神井公園駅間（Ⅰ期区間）下り線高架化 |
| 平成25年11月 | 石神井公園駅～大泉学園駅間（Ⅱ期区間）下り線高架化 |
| 平成27年1月 | 石神井公園駅～大泉学園駅間（Ⅱ期区間）上り線高架化 （全線高架化完了） |
| 平成29年3月 | 事業完了 |

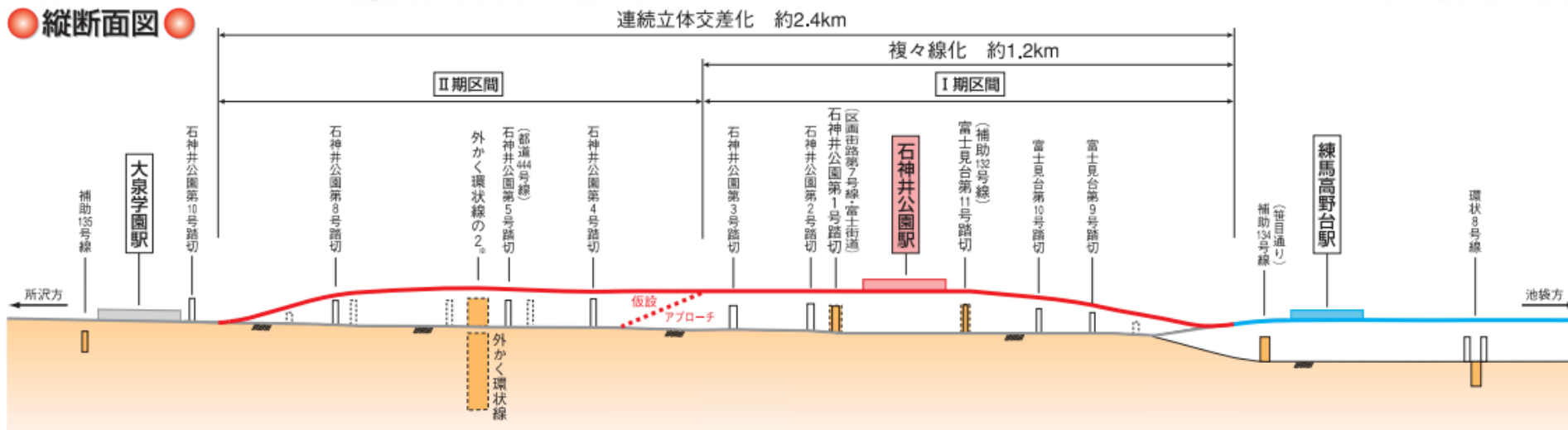


西武鉄道池袋線（練馬高野台駅～大泉学園駅）の連続立体交差事業および複々線化事業の概要

● 平面図 ●



● 縦断面図 ●



| | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| 構造物 | 擁壁 | 高架橋 | 擁壁 |
| 区間 | 取付部 | 一般部 | 取付部 |

- 凡例
- : 鉄道 (現在線)
 - : 都市計画道路 (完了)
 - : 側道 (完了)
 - : 鉄道 (現在線・立体化完了区間)
 - : 都市計画道路 (計画・事業中)
 - : 側道 (計画)
 - : 鉄道 (計画線)
 - : 新たに交差する区道

まちづくり段階構想

まちづくり基本構想の具体化の流れを示したまちづくりの段階構想は、第1段階・第2段階（その1・その2）・第3段階の4つに分かれています。

第1段階は、駅北口地区市街地再開発事業が完成した現段階を示しています。

第2段階（その1）は、石神井公園駅周辺地区での鉄道連続立体交差事業が完成するまでの期間のうち、概ね前半のまちづくりの目標を示したものです。

第2段階（その2）は、その1に続く、概ね後半のまちづくりの目標を示したものです。

第3段階は、第2段階以降の整備の目標を示したものです。

第1段階（現段階）

- 補助132号線の整備（富士街道～踏切：完成）
（富士街道以北：事業中）
- 富士街道の整備（補助132号線～石神井公園駅北口交差点：完了）
（駅北口交差点～踏切：事業中）
- 北口駅前広場の整備（完了）
- 駅北口市街地再開発事業、公共駐車場、区民交流センターの整備（完了）
- 補助132号線の事業化と沿道まちづくりの検討（踏切～ポート池）
- 駅周辺の共同化の検討 等



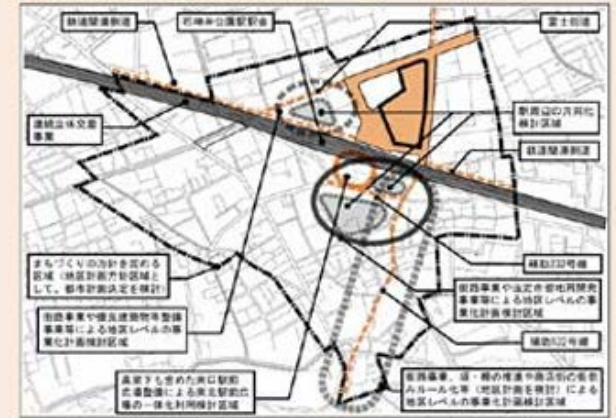
第2段階（その2）：駅付近の鉄道連続立体交差事業の完了時

- 連続立体交差事業、鉄道関連道路整備の完了、道路等の整備完了
・補助132号線（踏切～ポート池）、補助232号線（132号線～南口駅前広場）、南口駅前広場、富士街道（踏切～補助232号線）
- 駅周辺の建物共同化の完了
- 駅周辺の建物共同化と連携し、補助232号線（南口駅前広場～富士街道）の整備推進
- 商店街通りのまちづくりの推進
- 商店街、後背住宅地の環境と、石神井公園へのアクセス路整備の検討
- 細街路の拡幅計画（地区計画）に基づく区間道路の整備
- 高架下利用の方法を決定し、自転車駐車場を整備 等



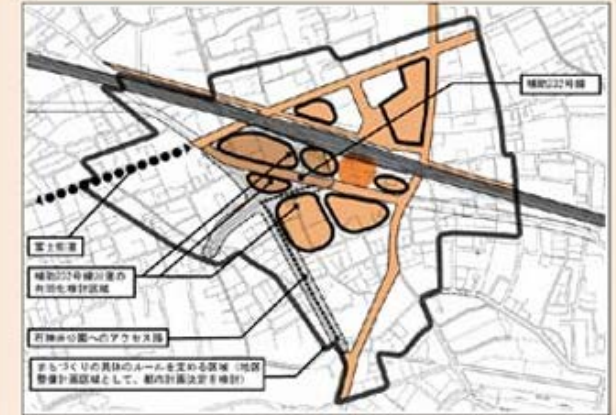
第2段階（その1）

- 地区全般のまちづくりのルールづくり（地区計画の「方針」づくり）
- 連続立体交差事業に着手、鉄道関連道路の整備着手
- 南口駅前広場の都市計画決定
- 沿道の建物の建て方や線に関する具体的なルールを定めて（「地区整備計画」づくり）、補助132号線（踏切～ポート池）の整備着手
- 建物共同化と連携した補助232号線（132号線～南口駅前広場）の整備着手
- 富士街道（石神井公園駅北口交差点～踏切）の整備完了
- 駅周辺の建物共同化と、周辺環境と調和した高度利用の推進
- 石神井公園にふさわしい駅施設の整備の検討
- 高架下利用について関係機関と協議 等



第3段階：駅付近の鉄道連続立体交差事業の完了以降

- 地区全般におけるルールに基づくまちづくりの推進
- 補助232号線（南口駅前広場～富士街道）整備推進
- 232号線沿道地区の建物共同化実施
- 商店街通りの景観に配慮した整備
- 石神井公園へのアクセス路となる道路の景観整備
- 細街路の拡幅計画（地区計画）に基づく区間道路の整備
- 富士街道（補助232号線以西）の整備 等

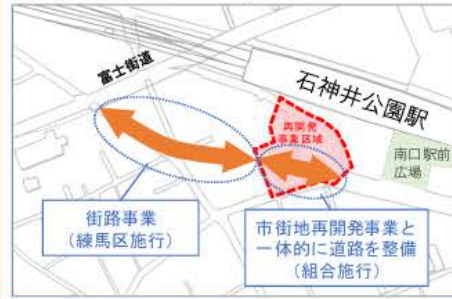
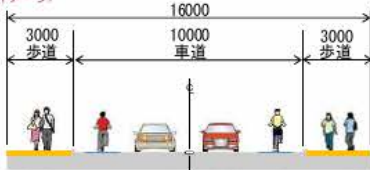


○ 都市計画道路 補助232号線

本年10月7日、補助232号線Ⅰ-2期が事業認可されました。

今後、地域の皆さまのご理解とご協力をいただきながら、道路整備に必要な用地の取得・整備を行っていきます。

＜整備イメージ＞



○ 区道の歩道設置工事

区道21-137号線（稲荷神社から和田堀公園の間）について、令和3年度に、道路の拡幅整備を行いました。

拡幅部分は、歩道として整備を行い、可能な限りみどりを残しながら、幅員2m以上の歩行空間を確保しています。（車道部分の幅員は変わっていません。）



▲整備後①



▲整備後②

○ 南口商店街

商店街通りについては、安全で快適な歩行空間や統一感あるまち並みの整備、そのための無電柱化の検討に商店会の皆さまと取り組んでいるところです。



▲現況



▲無電柱化のイメージ

○ 都市計画道路 補助132号線



補助132号線Ⅲ期（西武池袋線から石神井公園までの区間）の工事が完了します。

既に歩行者や自動車等の通行は可能となっていますが、今後、歩道の本整備等を行う予定です。

- ・平成18年 工事着手
- ・令和3年3月 バス路線の経路変更（商店街通り→補助132号線）
- ・令和5年3月 工事完了予定

○ 和田堀緑道の改修

和田堀緑道は、既存の樹木を活かした、みどりと水を楽しめる散策路としてリニューアル工事をします。

- ・令和4年10月ごろ 工事着手
- ・令和5年4月 開設予定

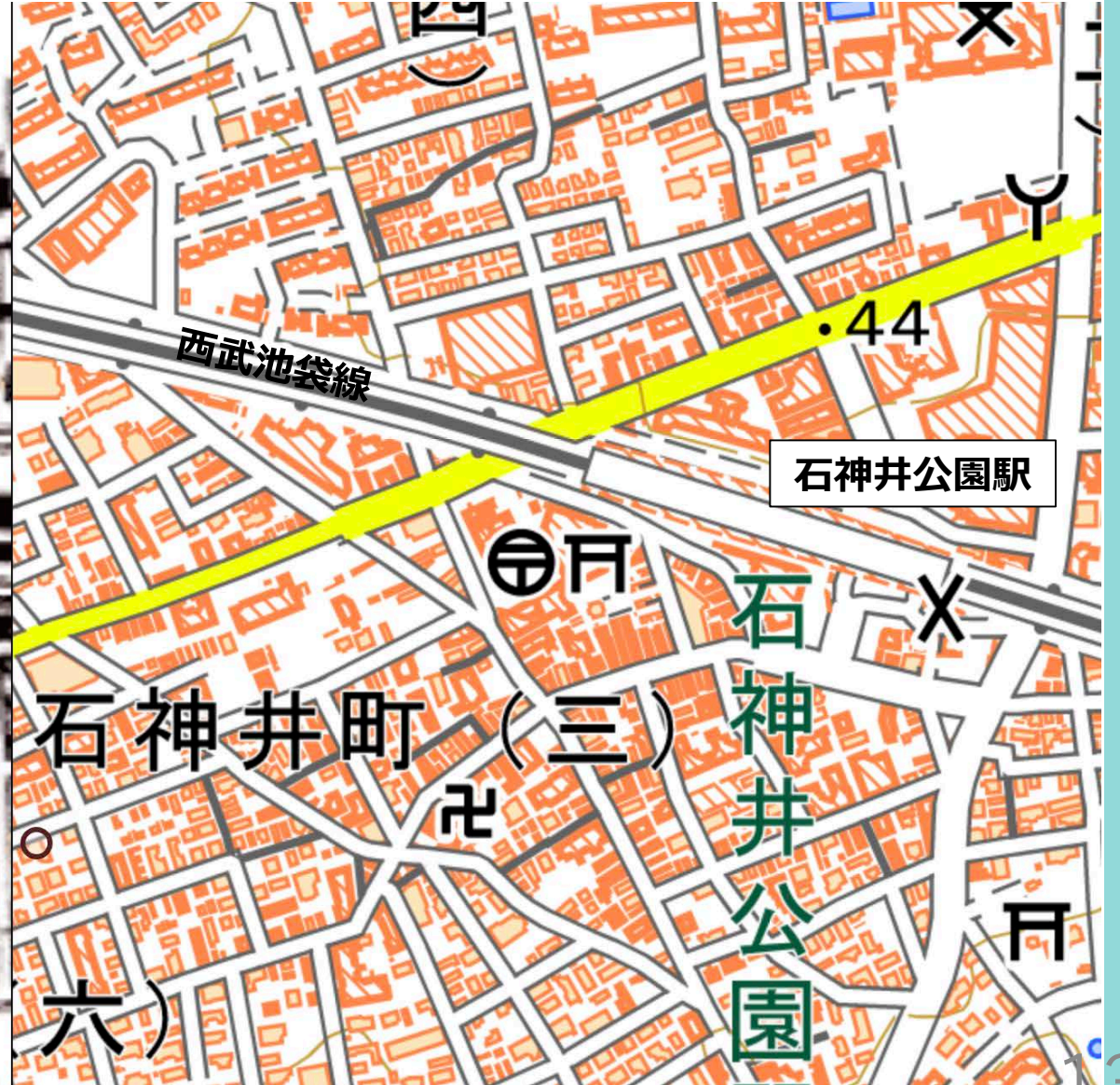


▲和田堀緑道改修イメージ

■ 2001年



■ 2019年



■ 1971年



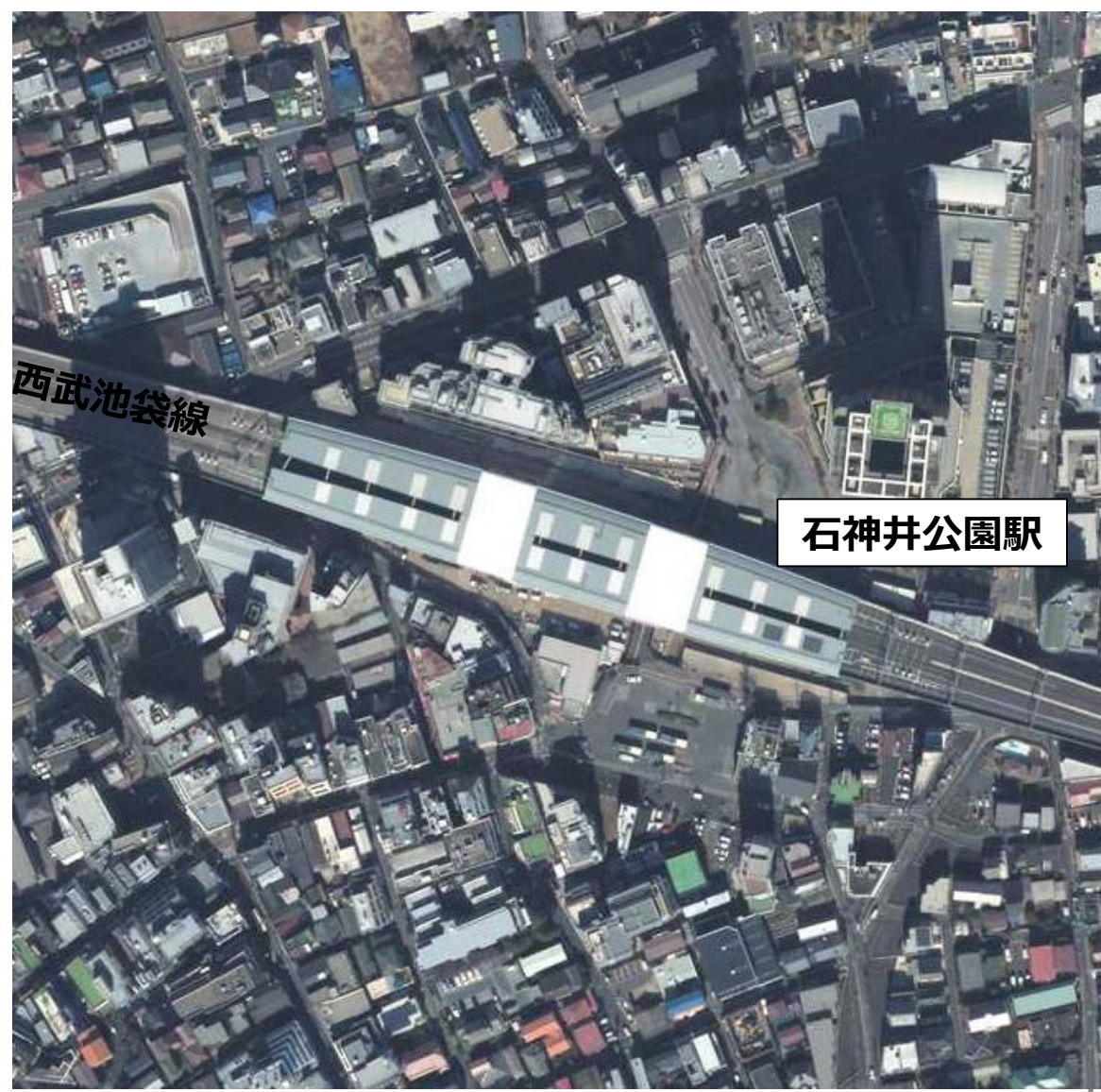
■ 1984年



■ 2007年



■ 2013年





北側ロータリー



高架橋の下にロータリーを設けたデザイン



南側ロータリー



南北通路北側から改札へ



北側側道（東方向）
一方通行道路（橋下駐輪場）



北側側道（東方向）
歩行者専用道路（荷捌き車OK）



北側側道（西方向）
歩行者専用道路（荷捌き車OK）



北側側道（西方向）
大スパン構造



石神井公園周辺の鉄道連続立体交差事業の特徴



① 駅南北の交通渋滞を回避するために、バス動線の大幅な道路改変を行った。

- ⇒補助132号線新設
- ⇒補助232号線整備
- ⇒補助232号Ⅱ期線計画

② バスの乗換え動線、自動車の送迎のために、南北に2つのロータリーを設置し、歩行者のためのバリアフリーの動線など幅広く検討している。

- ⇒北口ロータリー
- ⇒南口ロータリー
- 大胆にも高架橋の空間を利用した雨対策

③ 鉄道連続立体交差事業に合わせて、再開発事業（民間）を連動させた。

- ⇒北口再開発事業
- ⇒南口西地区再開発事業

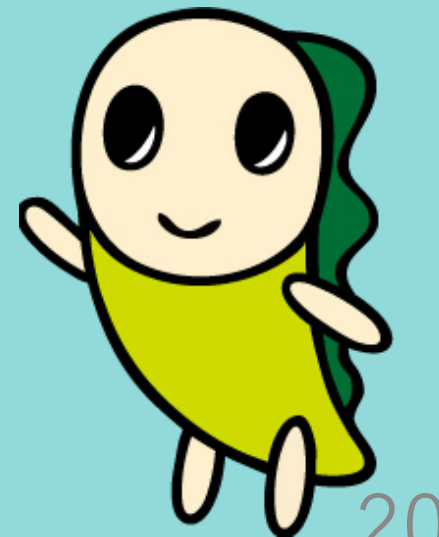
④ 高架橋の有効利用（商業施設誘致、公共施設、駐輪場等）を考えた。

- ⇒駐輪場
- ⇒商業地誘致
- ⇒公共施設誘致



3

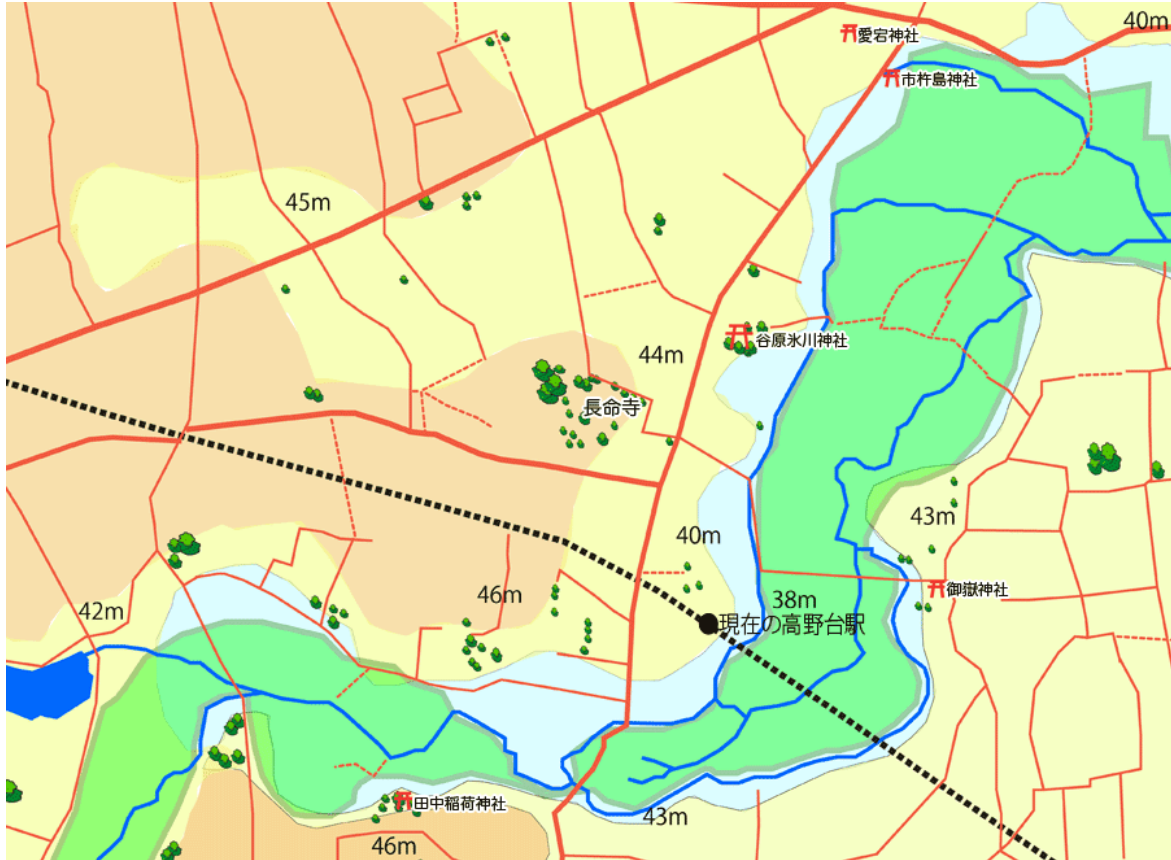
練馬高野台駅周辺 事例視察



練馬高野台駅

平成6年 1994年 練馬高野台駅開設

(鎌倉時代から高野台を守ってきた横山家の子孫が協力して新駅開設)



1947年

石神井川が蛇行して、田畑に水を供給していた



2024年

石神井川整備され一本化されているのが解る

■ 2001年



■ 2019年



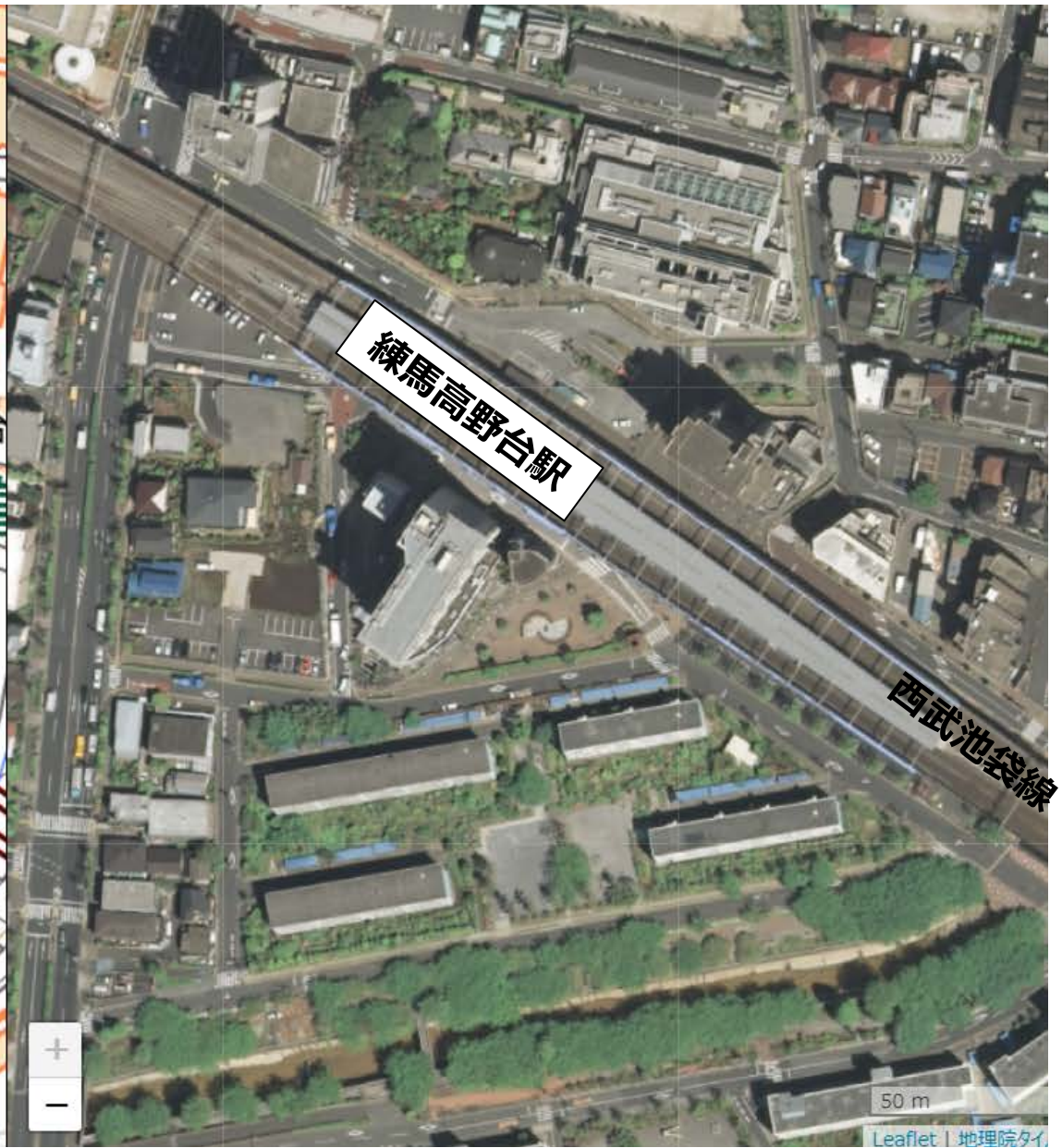
■ 1989年



■ 2013年



練馬高野台駅周辺





練馬高野台駅立体事業の特徴

- ①北側では、旧道路の拡幅と新たな道路動線を繋ぎ円滑な交通動線を計画した。
- ②北側にロータリーを設け、バス動線、送迎車の大幅な道路動線の改変を行った。
- ③南側は、立体事業に合わせて、商業施設と公園を連動させた。
- ④高架橋の有効利用（公共施設、商業施設、駐車場、駐輪場等）を考えた。

練馬高野台駅周辺



北側側道（東方向）
歩道優先+荷捌き車OK



北側ロータリー



北側ロータリー



北側側道（西方向）
一方通行+歩道

練馬高野台駅周辺



南北通路



南北通路



南側公園



南側道路

4

世田谷代田駅周辺 事例視察



連続立体交差事業 [世田谷代田駅～下北沢駅～東北沢駅]

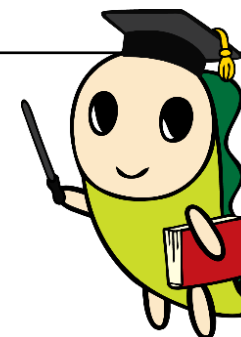
■ 整備概要

本事業は、踏切での慢性的な交通渋滞の解消等を目的とし、小田急電鉄小田原線の代々木上原駅付近から梅ヶ丘駅付近までの2.2 kmにおいて、道路と鉄道を連続立体交差化するとともに、あわせて抜本的な輸送サービスの改善を目的とし、東北沢駅付近から梅ヶ丘駅付近までの約1.6 kmにおいて、鉄道の複々線化を行うものである。

- 事業箇所：小田急小田原線の
代々木上原駅～梅ヶ丘駅間
- 構造形式：地下式
- 踏切解消：9箇所
- 交差する都市計画道路：2箇所
- 事業延長：約2.2 km
- 事業期間：平成16年度～30年度
- 事業費：約1653億円

■ 整備経過

| | |
|----------|-----------------------|
| 昭和39年12月 | 都市計画決定 |
| 平成15年1月 | 都市計画（変更）決定（地下化） |
| 平成16年3月 | 都市計画事業認可取得 |
| 平成21年7月 | 事業区間全線仮受完了 |
| 平成25年3月 | 在来線地下化切替え完了（9か所の踏切除却） |
| 平成30年3月 | 複々線化完了 |
| 平成31年3月 | 事業完了 |



小田急電鉄小田原線（代々木上原駅～梅ヶ丘駅間）の連続立体交差事業および複々線化事業の概要

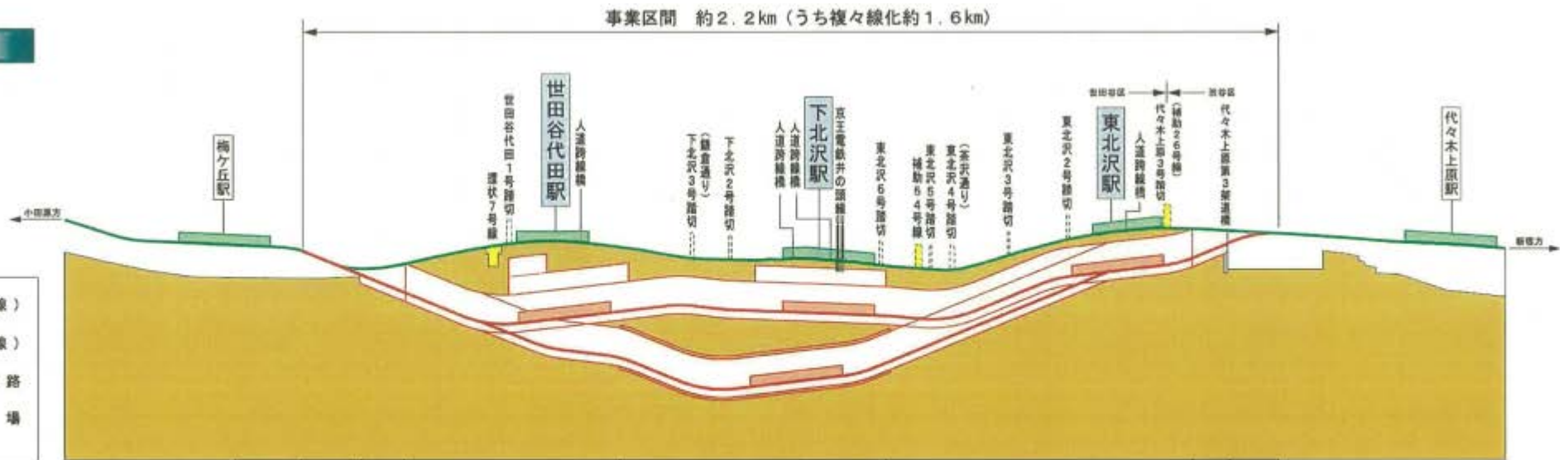
平面図



凡例

- 鉄道（完成区間）
 - 鉄道（今回応募区間）
 - 都市計画道路
 - 駅前広場
- ※今回応募区間における鉄道と都市計画道路との交差点については、上空から見た時に上に位置する都市計画道路を黄色で着色している。

縦断図



凡例

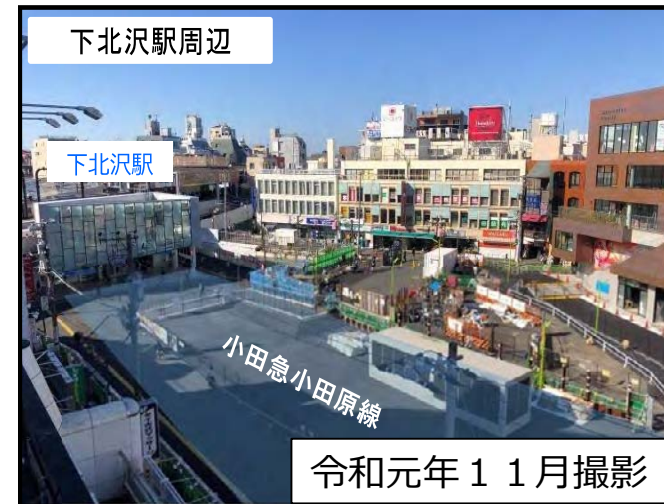
- 鉄道（現在線）
- 鉄道（計画線）
- 都市計画道路
- 駅前広場

| | | | | | | | | |
|----|----|----|--------|------------------|------------------|--------|----|-----------|
| 構造 | 擁壁 | 掘削 | 箱型トンネル | 上部:緩行線 下部:急行線 | 箱型トンネル 円形トンネル | 箱型トンネル | 掘削 | 高架橋 擁壁 |
| 工法 | — | — | 開削工法 | 上部:緩行線 下部:急行線 | 開削工法 シールド工法 | 開削工法 | — | — |

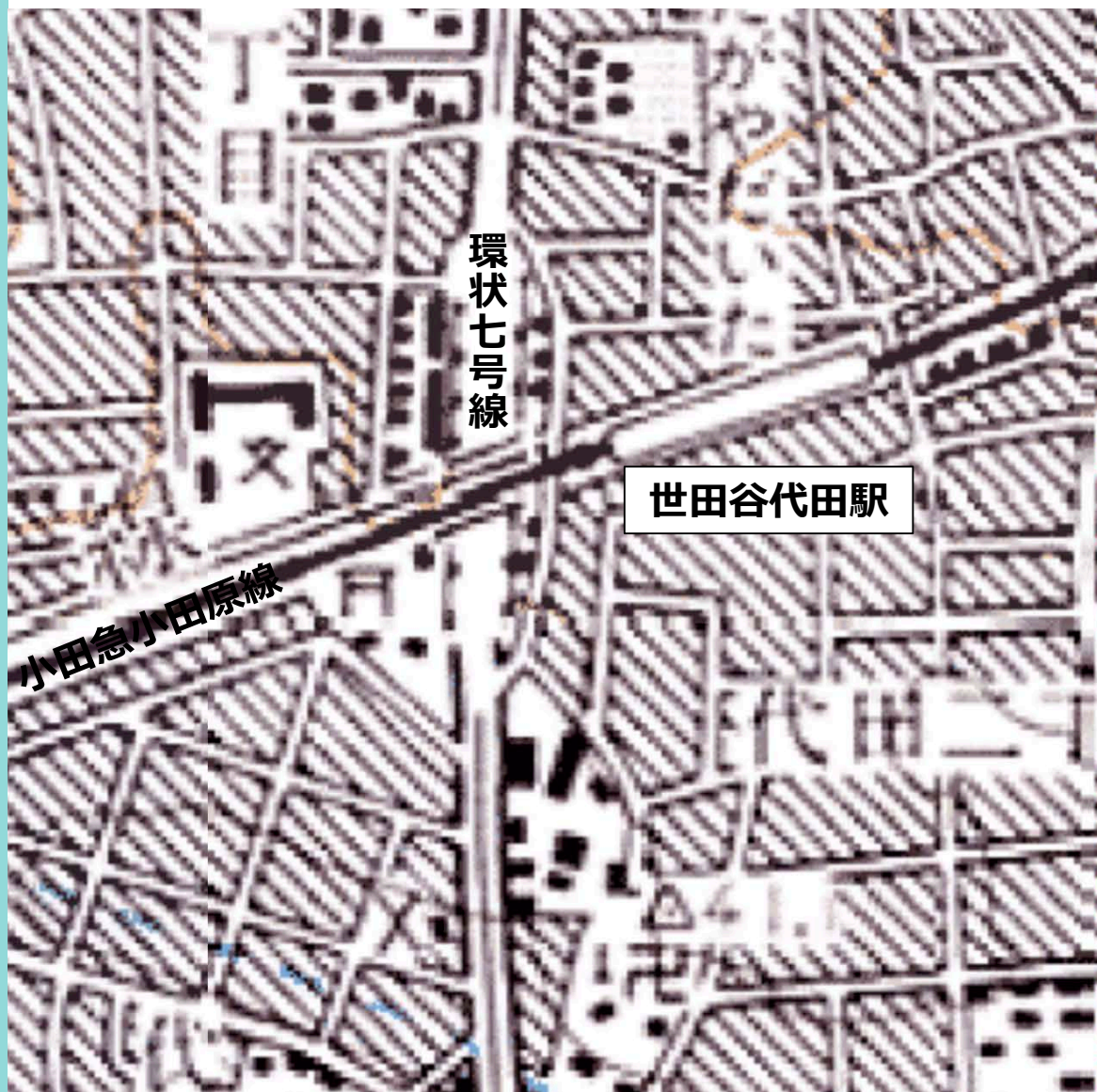
事業前写真



事業後写真



■ 2001年



■ 2015年



■ 2009年



■ 2019年



世田谷代田駅駅前広場整備検討事例（平成25年3月）

世田谷代田駅 駅前広場ワークショップ整備案

平成25年3月現在

■ ワークショップ開催までの経緯

世田谷代田駅の駅前広場については、平成12年度より地域の皆さまのご意見をいただきながら、鉄道事業者、交通管理者（警視庁）等との調整・協議を進め、平成22年3月に駅前広場整備計画（駅前広場として整備する範囲や広場内の道路の位置等を定めたもの）を策定しました。

- 平成12年度 駅前広場についてのアンケート調査を実施
- 平成13年度 駅前広場構想を策定
- 平成19年度 地域の活動団体「SAP」*がワークショップ等を経てまとめた、2案の駅前広場整備提案案を区に提出
*正式名称は、「世田谷代田を住みよく安心なまちにしよう！プロジェクト実行委員会」
- 平成20年度 区民提案を受けて、アンケート調査を実施
- 平成21年度 駅前広場整備計画を策定

この駅前広場整備計画をもとに、駅前広場に設置する施設（舗装・植栽・案内板）等のしつらえについて、地域の皆さまと一緒に考える駅前広場ワークショップを平成24年度に開催しました。

■ ワークショップでの検討経過

- 第1回 テーマ「経緯を知る」 平成24年9月30日（日）開催

これまでの駅前広場の検討の経緯と「駅前広場整備計画」を事務局から説明した後、駅前広場のしつらえについて3班のグループに分かれて図面にふせんを貼りながら意見交換しました。

- 第2回 テーマ「しつらえを考える」 平成24年11月18日（日）開催

第1回の意見を整理した内容を確認した後、駅前広場に設置する施設として植栽・ベンチ等の配置や仕様について、模型を使ったデザインゲームで検討しました。

- 第3回 テーマ「整備案をまとめる」 平成25年1月20日（日）開催

第2回で頂いた意見から作成した整備検討案を確認して、掲示板・花壇・樹木等の配置や樹種などについて意見交換し、ワークショップ整備案として取りまとめました。

■ ワークショップで検討したこと

全3回のワークショップでは、主に下記の点について話し合い、検討が行われました。

- ① 広場 : 広場の使い方、施設配置のイメージ等
- ② 道路 : 舗装のイメージ、駅前広場内の高低差処理等
- ③ みどり : 植栽の配置、樹種等
- ④ 施設 : モニュメント、ベンチ、案内板等の必要性
- ⑤ 防災施設 : 災害時に必要な機能、マンホールトイレの設置等
- ⑥ その他 : 駅周辺の交通規制、上部利用計画との関係等

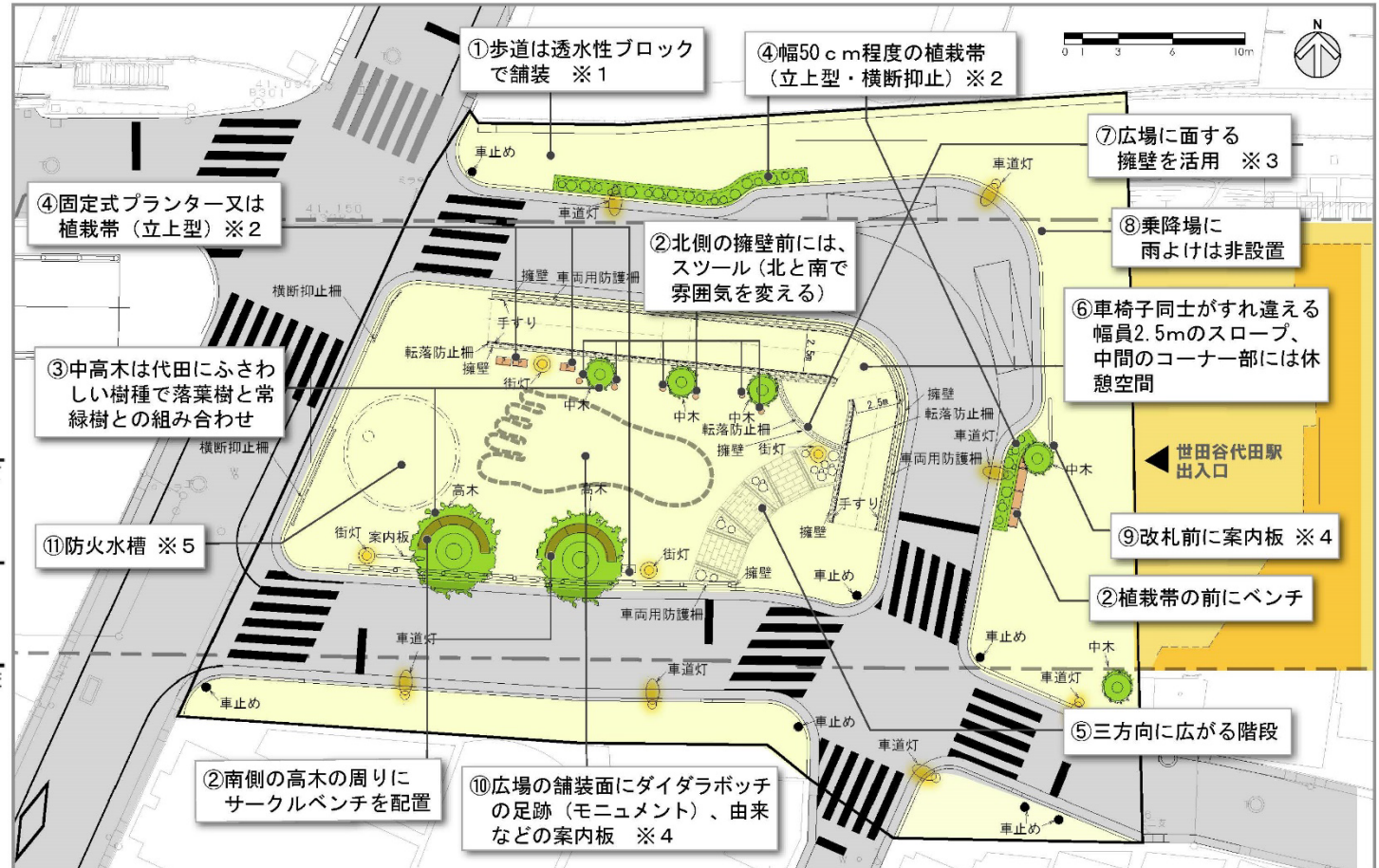
※世田谷区公式ホームページ「世田谷代田駅 駅前広場の整備が完了いたしました」より抜粋

(<https://www.city.setagaya.lg.jp/03649/4032.html>)

世田谷代田駅駅前広場 ワークショップ整備案

整備コンセプト

おだやかな日常が歴史になるむら
～富士山が見えるダイダラボッチの駅前広場～



今後の留意事項

- ※1 歩道の色は、上部利用計画との連続性を考慮
- ※2 協定等により住民グループが維持管理する花壇を設置
- ※3 広場内の壁面は、地域の意見や要望を取り入れたデザインや利用ができるようシンプルに整備
- ※4 案内板等については、関係機関と協議をして設置
- ※5 防災施設等は、上部利用計画にあわせて必要な施設を設置

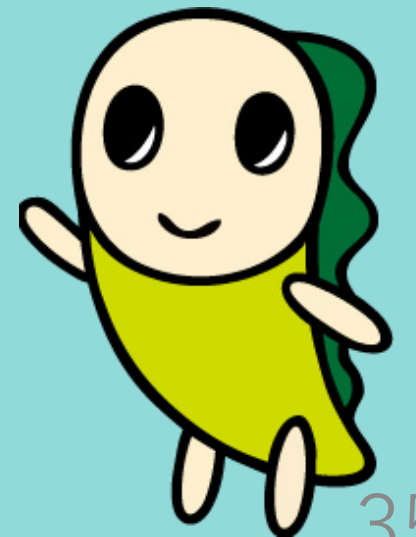
① ○○○○ ワークショップ整備案で決めた整備内容

凡例 ①～⑪:番号は、2～3ページの「ワークショップ整備案への反映結果」の番号と対象しています。

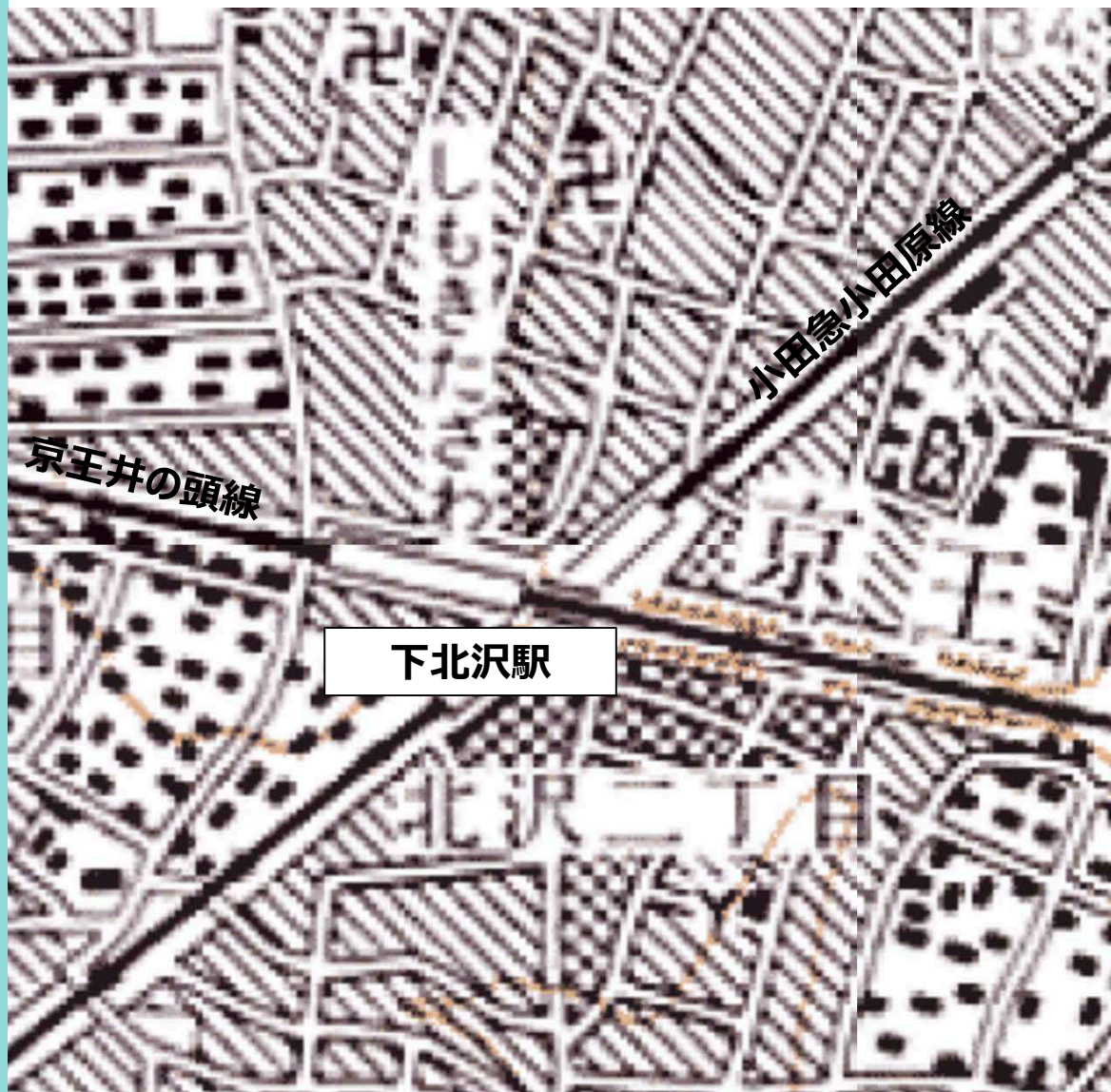
- ①舗装 ②ベンチ ③みどり ④プランター・植栽帯
- ⑤階段 ⑥スロープ ⑦壁面 ⑧乗降場・シェルター
- ⑨案内板 ⑩モニュメント ⑪防災施設

5

下北沢駅周辺 事例視察



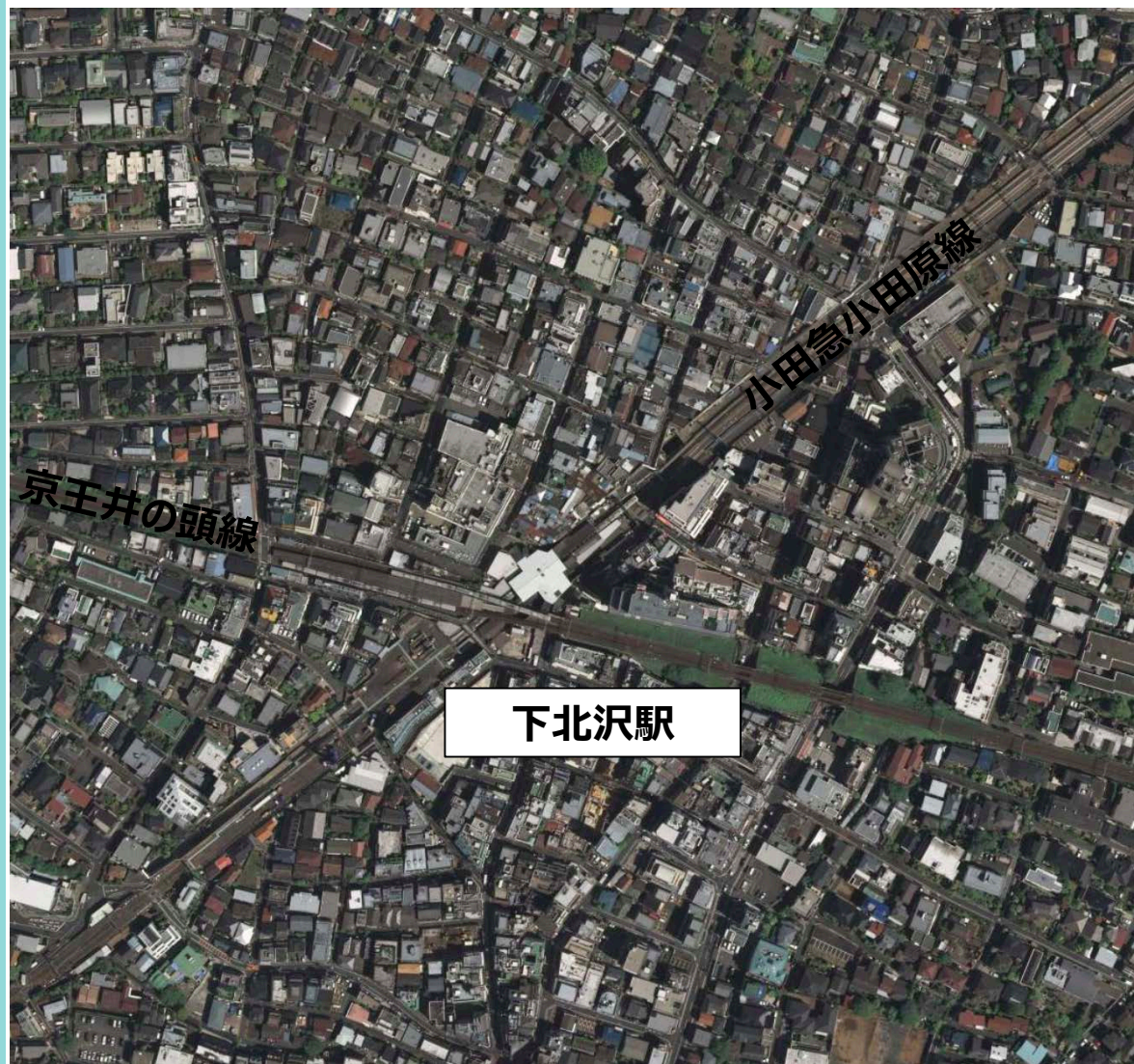
■ 2001年



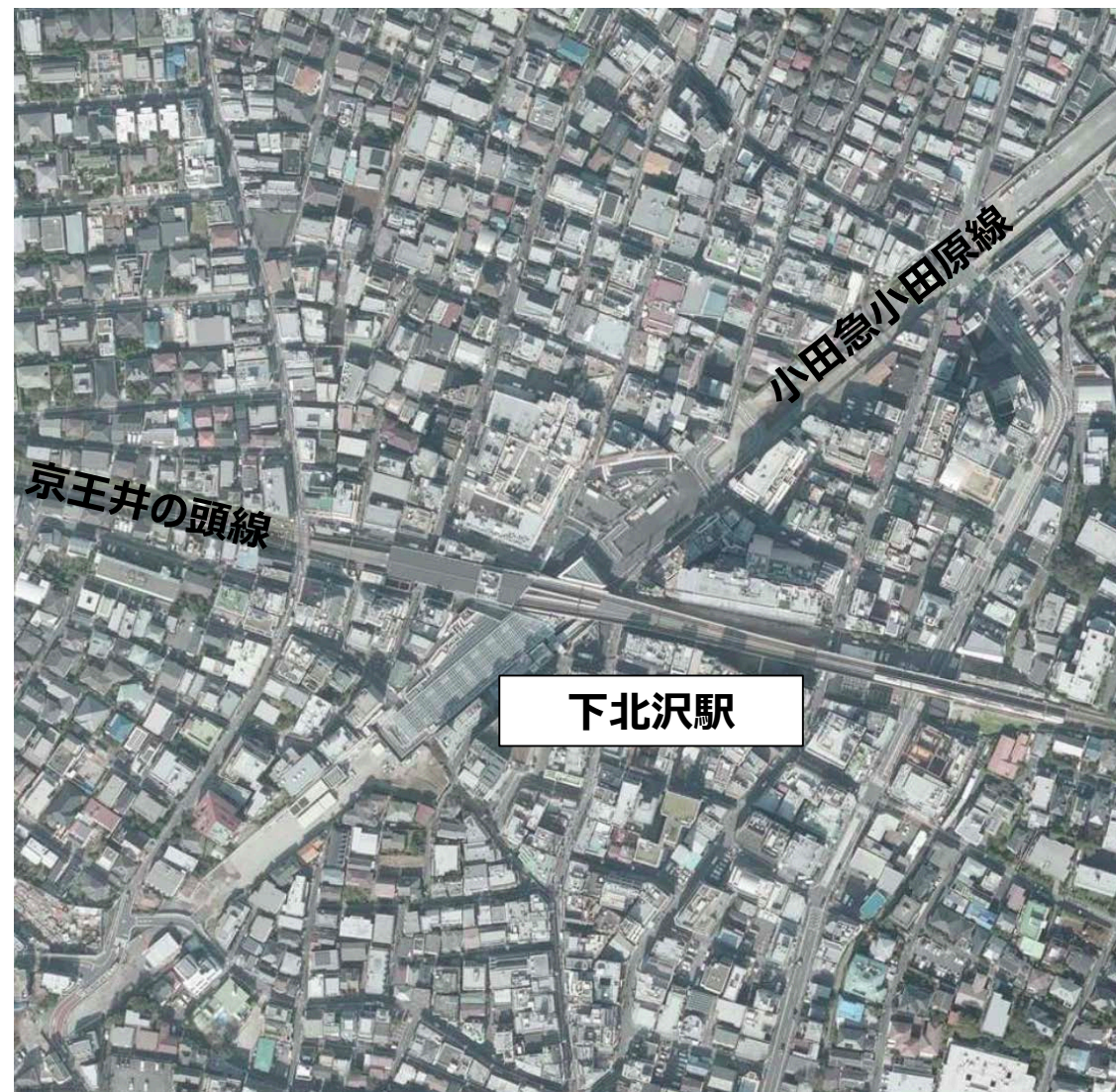
■ 2015年



■ 2009年



■ 2019年



下北沢駅周辺都市計画道路整備検討事例（令和4年2月）

下北沢駅周辺都市計画道路整備ワークショップ 検討の流れ



検討の内容とスケジュール

| | | |
|-----------------------|---|---|
| 第1回 全体会 | H26 11.16 (E) | ◎私たちの想いを共有しよう～下北沢らしさの構築～ |
| 第2回 全体会 | H27 1.24 (土) | ◎「魅力と課題まるごと下北沢マップ」づくり ◎私たちがめざす道路利用イメージ～通勤・通学・買い物・散歩～の共有 |
| 第3回 全体会 | H27 4.19 (E) | ◎「私たちがめざす道路の基本方針」の共有 ◎部会決定 |
| 交通検討会 | 第1回 H27.6.7 (E) | ◎平時の交通動線とルールについて ～歩行者、バイク、タクシー、自転車、歩道車等、自転車、寄さば車内の動線とルール等の構築～ |
| 第2回 H27.7.4 (土) | ◎今後まち全体で検討することの共有～自転車走行のルール・寄さばのルール～ | |
| 利用イメージ検討会 | 第1回 H27.6.7 (E) | ◎想定される利用について |
| 第2回 H27.7.4 (土) | ◎利用に応じた設えや施設について ◎補助第54号線西側の利用イメージの共有 ◎駅前広場の利用イメージの共有 | |
| 第4回 全体会 | H27 8.20 (土) | ◎補助第54号線(西側)の道路整備の考え方及び整備イメージの共有 ～利用を想定した設えやサークル等の考え方等 ◎補助第54号線(東側)の道路整備の考え方(案)の確認 ◎世区街第10号線(駅前広場)の道路整備の考え方(案)の確認 |
| 第5回 交通検討会 分科会 | H27 10.18 (E) | ◎世区街第10号線(駅前広場)の整備イメージの共有 ～責任分担と歩行者動線について、施設等のデザインイメージ ～開口方面の設えについて、施設等の設えについて |
| 第6回 全体会 | H27 11.29 (E) | ◎補助第54号線(東側)及び世区街第10号線(街路部分)の整備イメージの共有 ～車道と歩道の境界線の設え ◎補助第54号線(西側)の整備イメージの共有 ～世帯の位置と樹種イメージ ◎デザインイメージについて ◎運営組織の担うべき内容について |
| 第5回 全体会 | H28 1.24 (E) | ◎私たちがめざす道路整備の考え方の確認と共有 ◎私たちがめざす道路整備のイメージの確認と共有 ◎運営組織の役割と効果、進め方について確認 |
| 第6回 全体会 | H28 2.20 (土) | ◎「下北沢駅周辺都市計画道路整備ワークショップ提案書(案)」の確認と共有 ◎「提案書」の確定 |

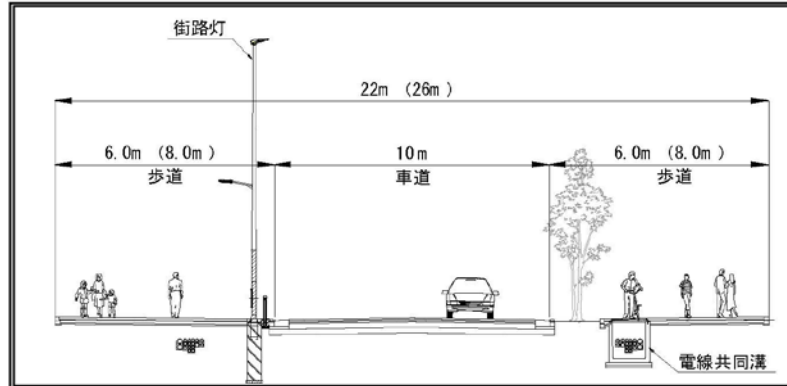
世田谷区への提案

1. 都市計画道路事業の概要

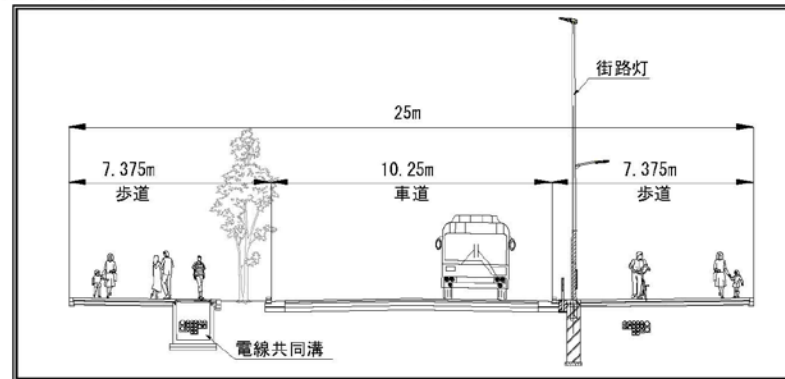
(1) 都市計画道路事業の認可

- ・事業の名称：幹線街路補助線街路第54号線及び区画街路世田谷区画街路第10号線
- ・事業認可日：(当初)平成18年10月18日 東京都告示第1437号
(変更)平成27年3月17日 東京都告示第419号
(変更)令和4年1月21日 東京都告示第54号
- ・事業施行期間：平成18年10月18日から令和11年3月31日まで

(3) 補助54号線の標準横断面図



(4) 世区街10号線の標準横断面図(街路部分)



(2) 事業平面図



世田谷区画街路第10号線(以下、「世区街10号線」と表記します。)の交通広場は、補助線街路第54号線(以下、「補助54号線」と表記します。)から車両の出入りを行い、広場内にはバスの乗降場、タクシー乗り場等の設置を予定しています。

※世田谷区公式ホームページ「補助54号線・世区街10号線 ニュースNO.8」より抜粋
(<https://www.city.setagaya.lg.jp/documents/4565/news8.pdf>)

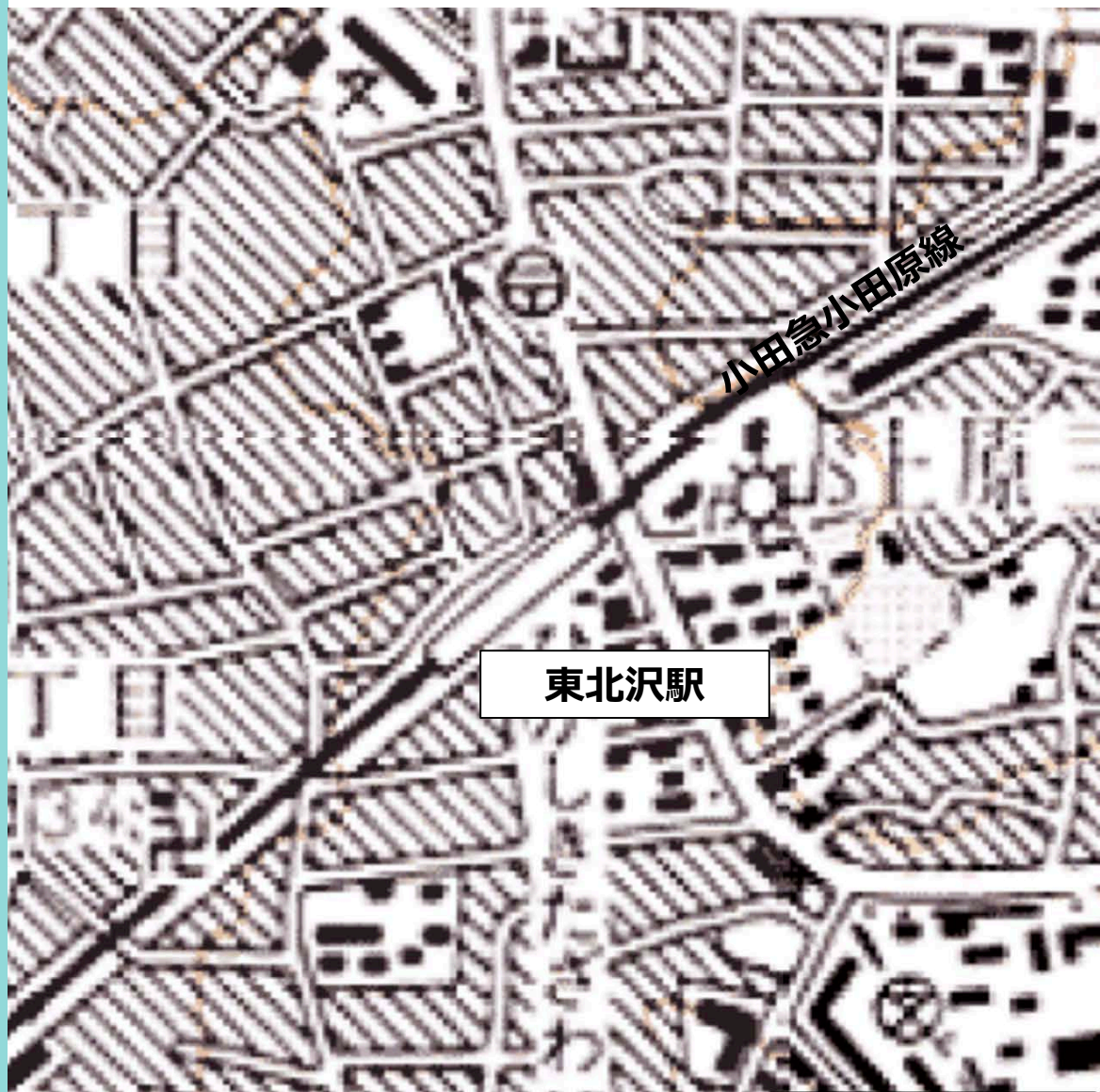
※世田谷区公式ホームページ「下北沢駅周辺都市計画道路の整備ワークショップ(終了しました)」より抜粋
(<https://www.city.setagaya.lg.jp/documents/4566/teiannsyo1-4.pdf>)

6

東北沢駅周辺 事例視察



■ 2001年



■ 2015年



■ 2009年



■ 2019年



東北沢駅駅前広場整備検討事例（平成25年3月）

東北沢駅駅前広場ワークショップ整備案

平成25年3月

■ワークショップ開催までの経緯

東北沢駅の駅前広場については、平成12年度より地域の皆さまのご意見をいただきながら、鉄道事業者、交通管理者（警視庁）等との調整・協議を進め、平成22年3月に駅前広場整備計画（駅前広場として整備する範囲や広場内の道路の位置等を定めたもの）を策定しました。

- 平成12年度 駅前広場についてのアンケート調査を実施
- 平成13年度 駅前広場構想を策定
- 平成19年度 東北沢駅周辺を考える会による区民提案
- 平成20年度 区民提案を受けて、アンケート調査を実施
- 平成21年度 駅前広場整備計画を策定

この駅前広場整備計画をもとに、駅前広場に設置する施設（舗装・植栽・案内板）等のしつらえについて、地域の皆さまと一緒に考える駅前広場ワークショップを平成24年度に開催しました。

■ワークショップでの検討経過

- 第1回 テーマ「経緯を知る」** 平成24年9月23日（日）開催
これまでの駅前広場の検討の経緯と「駅前広場整備計画」を事務局から説明した後、駅前広場のしつらえについて2班に分かれてグループで討議した後、全体発表を行いました。
- 第2回 テーマ「しつらえを考える」** 平成24年11月4日（日）開催
第1回目の意見を整理した内容を確認した後、駅前広場に設置する施設（植栽・ベンチ等）の配置や仕様について、模型を使ったデザインゲームで検討しました。
- 第3回 テーマ「整備案をまとめる」** 平成24年12月9日（日）開催
第2回で頂いた意見から作成した整備検討案を確認して、掲示板・花壇・樹木等の配置や樹種などについて意見を交換し、ワークショップ整備案として取りまとめました。

■ワークショップで検討したこと

全3回のワークショップでは、主に下記の点について話し合い、検討が行われました。

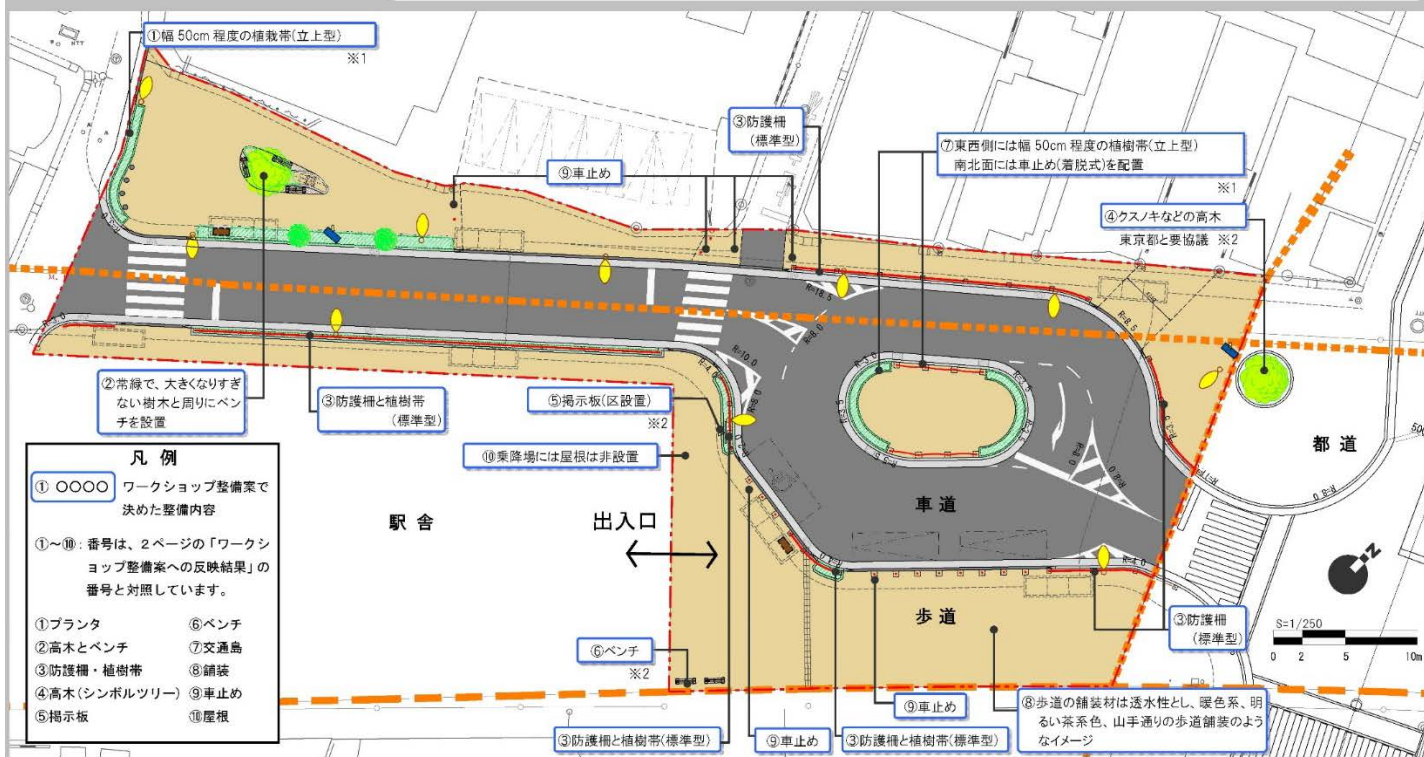
- 広場 : コミュニティー空間として広場の使い方、整備イメージ等
- 道路 : 歩行者の安全、歩車道の色、路面のデザイン、交通島のしつらえ等
- みどり : 住民が参加する花壇の設置、植栽帯の形式、樹木の配置、樹種等
- 設備 : シンボルの設置、ベンチの必要性、案内板の位置等
- 防災施設 : 災害時に広場に必要機能、太陽光照明の設置等
- その他 : 都道などの周辺整備、上部利用計画との関連等

東北沢駅駅前広場ワークショップ整備案

整備コンセプト

～ やすらぎのまちにふさわしい、安心とるおいのある交流空間づくり ～

だれもが安心して利用でき、落ち着いた雰囲気の街にふさわしいしつらえを目指します。



今後の留意事項

- ※1 住民グループ等と区が協定等を取り交わし、管理を行う花壇を設置 ①⑦
- ※2 ベンチや掲示板、都道内のシンボルツリーなどは、関係機関と協議を行い設置 ④⑤⑥
- ※3 防災施設等は、上部利用計画に併せて、必要な施設を設置

7

次回のスケジュール



第6回（仮称）下井草まちづくりラボ

日時：11月30日（土）9時～11時30分

内容：今年度の（仮称）下井草まちづくりラボのまとめ等

会場：桃井第五小学校体育館

今年度開催する（仮称）下井草まちづくりラボは、次回が最終回となります。

みなさま、ぜひご参加をお願いいたします。

8

閉会



長時間

お疲れさまでした

お配りしたアンケートのご協力をお願いします。

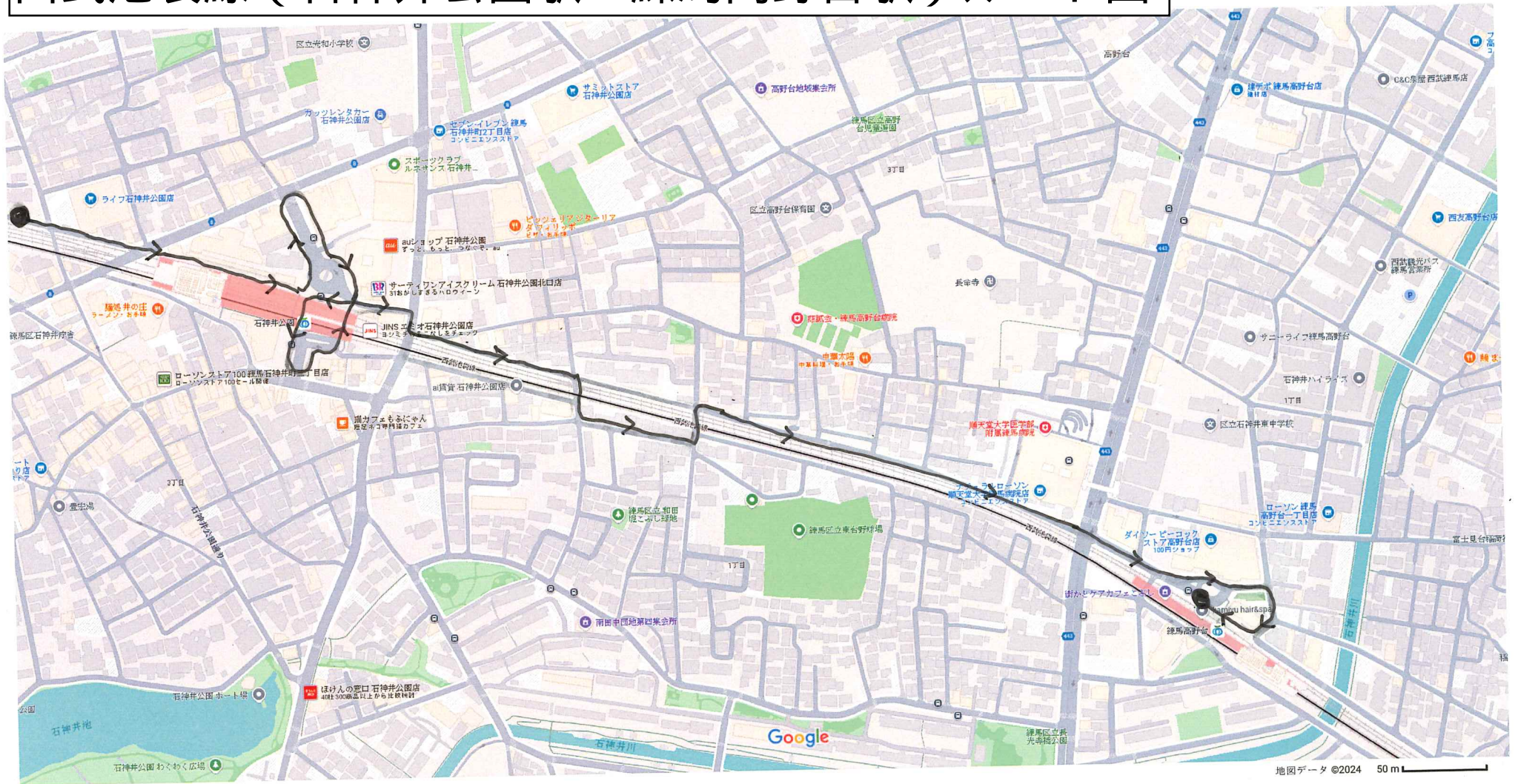
アンケートの記入が終わった方は、お帰りの際に
区職員へ提出をお願いします。

後日提出される方は、二次元コードまたはFAX
にて提出をお願いします。（10月28日（月）まで）

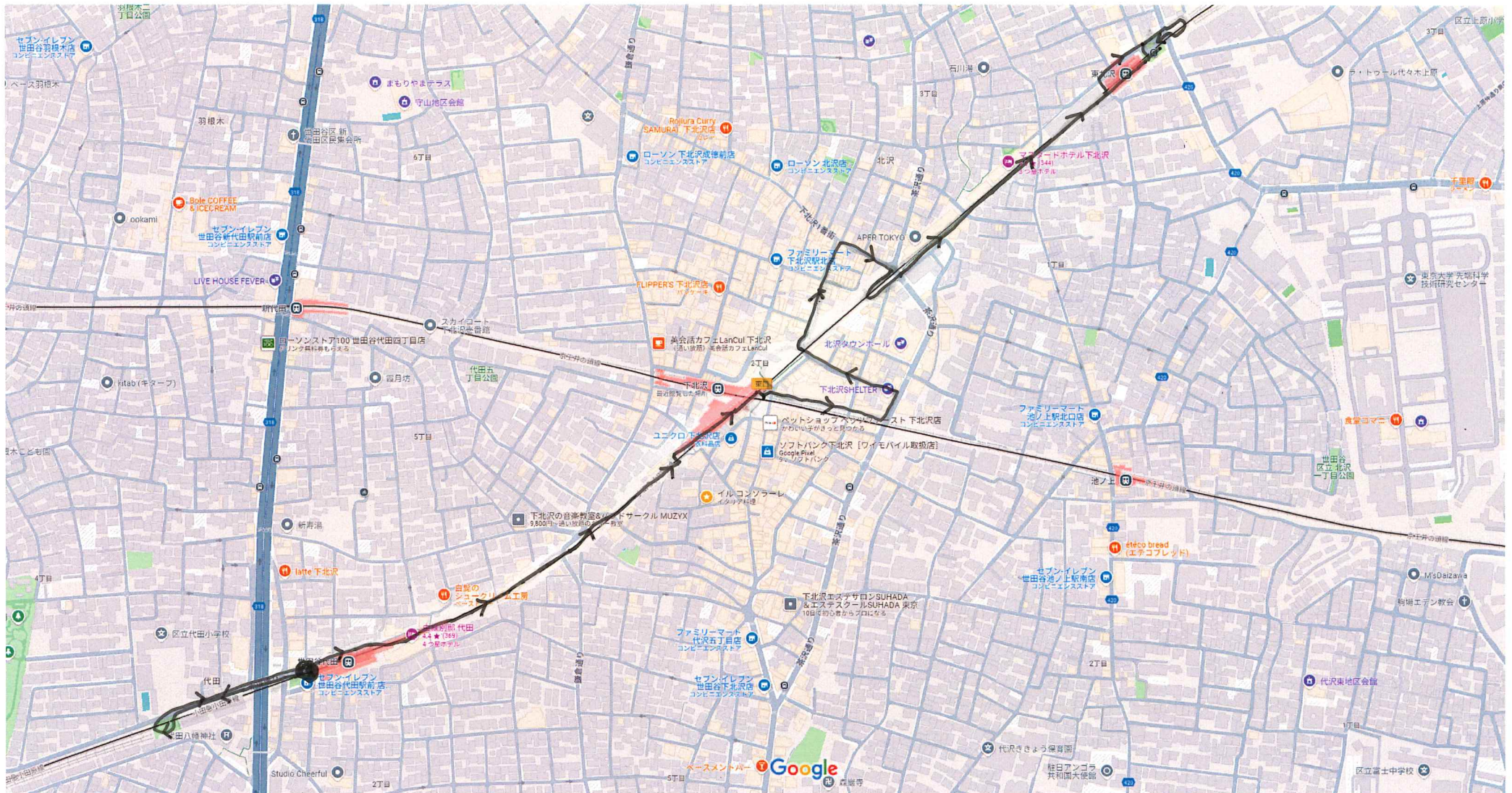


メモ（ご自由にお使いください）

西武池袋線（石神井公園駅～練馬高野台駅）ルート図



小田急小田原線（世田谷代田駅～下北沢駅～東北沢駅）ルート図



第5回 (仮称)下井草まちづくりラボ アンケート

本日はご多忙の中、ご参加いただきまして誠にありがとうございました。
今回の(仮称)下井草まちづくりラボに対するご意見や感想がございましたら、是非お聞かせください。今後、開催時の参考にさせていただきます。

■今回の(仮称)下井草まちづくりラボについて

- よかった
どちらとも言えない
よくなかった

(選択理由: _____)

■鉄道連続立体交差事業及び駅周辺まちづくりの事例視察における説明について

(株式会社 GEN プランニング 奥村氏)

- 理解できた
どちらともいえない
理解できなかった

(選択理由: _____)

■西武池袋線沿線(石神井公園駅～練馬高野台駅)及び駅周辺まちづくりの事例視察を通して、考えたこと・印象に残ったこと・疑問に思ったこと等を教えてください

[_____]

■小田急小田原線沿線(世田谷代田駅～下北沢駅～東北沢駅)及び駅周辺まちづくりの事例視察を通して、考えたこと・印象に残ったこと・疑問に思ったこと等を教えてください

[_____]

■今後も、同様の事例視察のイベントがあれば参加したいですか

- 参加したい
どちらとも言えない
参加したくない

(選択理由: _____)

■その他(自由記入欄)

[_____]

お名前(任意) _____

ご協力ありがとうございました。

後日、右記の二次元コードまたはFAXでもご提出いただけます。

FAXで送信される方は、電話番号のご記入をお願いいたします。

回答〆切日：令和6年10月28日(月曜日)(当日中必着)

<お問合せ先> 杉並区都市整備部市街地整備課 担当 ^{たきざわ} 瀧澤、^{いか} 井家、^{あさひな} 朝比奈

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 杉並区役所西棟3階

電話 03-3312-2111(内線3379) FAX 03-3312-2907

二次元コード

